

令和3年度

9月補正予算の概要

令和3年9月
防府市

1 予算規模等

一般会計の予算規模は、3億800万円の増額で、補正後の予算額は、456億6,421万8千円となっています。

歳入では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や参議院議員補欠選挙業務に伴う県支出金等の予算を計上するとともに、歳出では、PCR検査実施事業や中小企業DX推進事業等に係る予算を計上しています。

<歳出予算>

(単位：千円)

	補正額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
PCR検査実施事業	100,000				100,000
参議院議員補欠選挙	45,000		45,000		
小計(議案第52号分)	145,000		45,000		100,000
中小・小規模事業者等総合相談窓口の延長	3,000				3,000
がんばる事業者応援事業	50,000	50,000			
中小企業DX推進事業	30,000	29,000			1,000
通学路等緊急交通安全対策事業	30,000				30,000
緊急河川改修事業	30,000			地方債 30,000	
災害対策事業	20,000				20,000
小計(議案第53号分)	163,000	79,000		30,000	54,000
合計	308,000	79,000	45,000	30,000	154,000

<歳入予算>

計 308,000千円

79,000千円 … 国庫支出金(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

45,000千円 … 県支出金(選挙費委託金)

30,000千円 … その他(地方債：緊急自然災害防止対策事業債)

※一般財源(154,000千円)は、繰越金により財源充当

2 事業の概要

議案第52号分 【145百万円】

○PCR検査実施事業

100百万円

(10百万円→110百万円)

小中学校の2学期開始までに、安全・安心な教育環境を確保するため、全ての教職員等（希望者）に対して緊急PCR検査を実施しています。併せて、保育所・幼稚園の全ての保育士等（希望者）に対しても実施しています（予備費対応）。

9月以降についても、今般の低年齢層の感染状況を踏まえ、小中学校の児童・生徒、教職員等を対象としたPCR検査について、感染状況に応じて柔軟に行えるよう制度を拡充します。

併せて、保育所・幼稚園等の保育士等に対しても実施します。

〔対象者〕①小中学校の児童・生徒、教職員等

②保育所・幼稚園の保育士等

〔自己負担〕無料

※妊婦に対しては県事業でPCR検査が実施されています。

【令和3年度6月補正で措置したPCR検査実施事業】

小中学校の県外との交流活動におけるPCR検査について実施しています。

○参議院議員補欠選挙

45百万円

参議院議員補欠選挙に要する経費です。

〔投開票日〕令和3年10月24日（野島投票区：令和3年10月23日）

〔期日前投票〕①ゆめタウン防府特設会場 ※市庁舎の代替会場

（令和3年10月8日～23日：16日間）

②イオンタウン防府特設会場

（令和3年10月18日～23日：6日間）

※野島投票区の期日前投票は①、②ともに令和3年10月22日まで

議案第53号分 【163百万円】

○中小・小規模事業者等総合相談窓口の延長 3百万円

感染状況を踏まえ、相談業務等に対応するため、ルルサス防府2階に開設している総合相談窓口を12月末まで3か月延長します。

**○がんばる事業者応援事業 増額 50百万円
(150百万円→200百万円)**

長引くコロナ禍において、いまだ厳しい経営状況にある中小企業者等からの需要に十分対応できるよう予算を増額します。

[事 例] ・地場産品を生かしたテイクアウト商品の開発
・マルシェ等の出店に伴う資機材の購入
・CO₂センサー、自動検温器の設置などによる
感染防止対策への取組 など

[補助率] 対象事業費の3/4

[補助上限] 30万円

○中小企業DX推進事業 30百万円

新型コロナウイルス感染症の影響下で、DX（デジタルトランスフォーメーション）による業務の変革や販路開拓等への取組を行う中小企業等に対して補助します。

[対 象] 中小企業サポートセンター（コネクト22）の指導により作成する「事業計画」に基づき実行する取組

[事 例] ・新たな販路開拓のためのECサイト構築
・業務の見える化に向けた施工管理システムの導入
・生産性向上に向けた在庫管理システムの導入 など

[補助率] 対象事業費の3/4

[補助上限] 100万円

○通学路等緊急交通安全対策事業

30 百万円
(20 百万円→50 百万円)

千葉県八街市で起きた交通事故を受けて実施した通学路等の緊急点検に基づき、小学校周辺の横断歩道のカラー化については、その対象範囲を拡大し、スクールゾーン全体を実施するとともに、不明瞭な横断歩道の復旧も併せて実施します。

〔事業内容〕 小学校周辺の信号機のない横断歩道（約 160 箇所）のカラー化
※半径 250m から半径 500m（スクールゾーン）へ範囲の拡大

など

<施工前>



<施工後のイメージ>



○緊急河川改修事業

30 百万円

このたびの大雨により被災した河川について、緊急的に改良工事を実施します。

〔施工箇所〕 馬刀川河川改良工事（L=30m）
後田川河川改良工事（L=30m）

○災害対策事業

20 百万円
(24.5 百万円→44.5 百万円)

これまでの大雨等による応急復旧に要する経費は、当初予算枠で対応していますが、今後想定される台風等の災害に迅速に対応出来るよう予算を復元します。

3 債務負担行為

債務負担行為を追加します。

事 項	限 度 額	期 間
庁舎建設事業（庁舎棟、福祉棟建設 工事及び工事監理業務）	10,400,000 千円	令和3年度～令和6年度
佐波川睦美橋架替事業負担金	30,000 千円	令和3年度～令和4年度
消防通信指令業務共同運用事業 負担金（実施設計業務）	3,685 千円	令和3年度～令和4年度

庁舎建設事業（参考資料）

1 補正予算の内容

債務負担行為の設定

事項	限度額	期間
庁舎建設事業 (庁舎棟、福祉棟建設工事及び 工事監理業務)	10,400,000 千円	令和3年度～令和6年度

2 工事の概要

「安全・安心の拠点となる、まちの顔としての庁舎」を基本理念とし、防災拠点機能の強化と市民サービスの向上を実現する庁舎を、令和6年度中の供用開始に向けて整備する。

(1) 対象施設の概要

	1. 庁舎棟	2. 福祉棟
構造	鉄骨造（基礎免震）	鉄骨造
延床面積	17,713.76 m ²	2,047.72 m ²
階数	8階＋機械室	2階

(2) 特徴

① 防災拠点機能の強化

- ・ 免震構造（庁舎棟）
- ・ ライフライン断絶にも対応可能な設備の導入
- ・ 県や社協との連携強化による一体的な災害対応 等

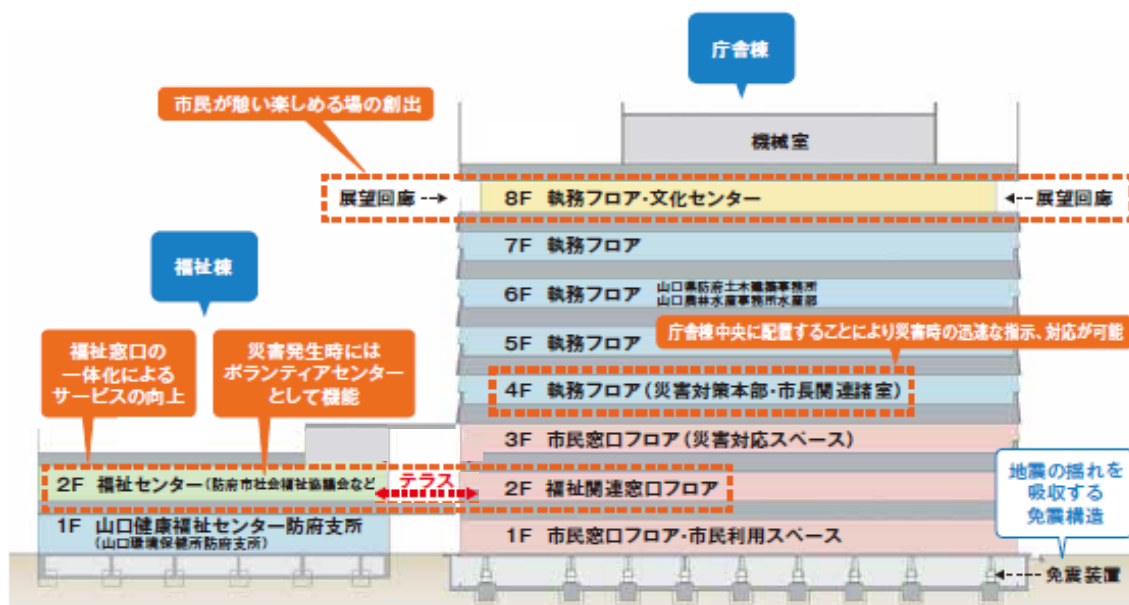
② 市民サービスの向上

- ・ 窓口部門を低層階に集約
- ・ 福祉部門と社協を同一フロアに配置し、立体駐車場と連絡デッキで接続
- ・ ユニバーサルデザイン、バリアフリースイッチ等、誰でも利用しやすい庁舎 等

③ 省エネルギー、環境への配慮

- ・ CO₂排出量の少ない空調システムをはじめとした高効率・高性能機器の導入
- ・ 自然換気や自然採光、LED照明等の採用による環境への配慮 等





3 発注方針（案）

詳細は入札公告において公表予定。

- (1) 「建築主体」、「電気設備」、「機械設備」の3工事に分離し、共同企業体へ発注する。
- (2) 共同企業体の結成方式は、(3)により選定された代表者が構成員を選定して結成する、入札後結成方式とする。
- (3) 代表者は制限付き一般競争入札により選定し、落札者の決定は総合評価方式（簡易型）で行う。
- (4) スケジュール（予定）

令和3年10月	入札公告
12月	入札
令和4年 1月～2月	落札候補者決定、共同企業体結成、仮契約
3月	契約議案を議会へ上程